

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-1-3		事業名	特別養護老人ホーム新築費補助事業			
担当	保健福祉局保健福祉部高齢福祉課 山田 211-2976						
全体計画							
事業内容	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画及び北海道介護保険事業支援計画に基づき、自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活することができるように、地域密着型特別養護老人ホームを整備する事業者を選定し、整備費補助を行う。			<年度別の事業内容>			
				平成19～22年度 定員29人分の施設を2カ所ずつ整備			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	1 福) モニカ「マリア園」定員:29人 場所:厚別区厚別町下野幌49-9他、補助額:40,179千円(H19-20工事、H20.10開設) 福) = 社会福祉法人の略			1 福) 秀寿会「(仮称)幸寿園」定員:27人 場所:手稲区手稲本町3条4丁目397-1他、補助額:60,000千円(H20工事、H21.1開設予定) 2 (仮称)福) 悠生会「(仮称)白ゆり」定員:29人 場所:北区篠路町拓北33-1、補助額:60,000千円(H20工事、H21.4開設予定) 福) = 社会福祉法人の略			
達成目標の状況							
項目		18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
地域密着型特別養護老人ホームの入所定員数		51人	51人	136人	194人	252人	283人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 市民アンケート調査を実施したほか、公募市民を含めた委員で構成する介護保険事業計画推進委員会において、計画と事業実績との比較分析や次期計画策定のための審議等を行った。							
企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	3-1-3		事業名	特別養護老人ホーム新築費補助事業			
評価(成果)			課題				
平成19年度整備事業として2カ所を予定しており、うち1カ所は整備予定法人より計画断念の申し出があり、整備には至らなかったが、1カ所は工事の進捗が遅れているものの平成20年度に開設する予定である。 従って、入所を待機している高齢者を一定程度減少させることができる見込みである。			地域密着型特別養護老人ホームは、定員が29人以下と小規模なため、スケールメリットが発揮できず、施設の経営難が懸念され、事業者がなかなか施設整備に踏み切れない状況にある。				
今後の事業の予定・方向							
市の高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画に基づき、引き続き地域密着型特別養護老人ホームを中心に整備を進めていく。また、19年度に整備できなかった1施設について、計画期間中に整備可能かどうか検討していく。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	120,000	120,000	120,000	120,000	480,000	
	財源内訳	国・道支出金	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	40,000	40,000	40,000	40,000	160,000		
予算	事業費	120,000	139,821	-	-	240,000	
	財源内訳	国・道支出金	80,000	80,000			160,000
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
一般財源	40,000	59,821			80,000		
実績	事業費	40,179	-	-	-	40,179	
	財源内訳	国・道支出金	40,000				40,000
		市債	0				0
		その他	0				0
一般財源	179				179		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				37.5%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体) 平成19年度整備において、2カ所の計画のところ、1カ所のみ整備となった。							
[19年度] 着工予定2カ所のうち、1カ所が整備予定法人の計画断念の申し出により、着手できなかった。							
[20年度] 繰越明許費として19,821千円を予算計上しているため、計画費との差異がある。							
予算の計には、翌年度への繰越分を含まない。							